



2021年9月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2021年11月11日

上場会社名 株式会社Amazia
コード番号 4424 URL <https://amazia.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐久間 亮輔
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 神津 光良 TEL 03-6427-8856
定時株主総会開催予定日 2021年12月23日 有価証券報告書提出予定日 2021年12月24日

配当支払開始予定日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期の業績(2020年10月1日～2021年9月30日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期	7,507	0.2	287	73.8	290	73.2	185	75.3
2020年9月期	7,524	122.2	1,097	163.8	1,084	173.6	750	147.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年9月期	27.55	26.74	10.0	9.5	3.8
2020年9月期	112.33	107.91	55.3	46.0	14.6

(参考) 持分法投資損益 2021年9月期 百万円 2020年9月期 百万円

(注)2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期	3,020	2,049	64.4	289.03
2020年9月期	3,106	1,800	56.3	260.87

(参考) 自己資本 2021年9月期 1,946百万円 2020年9月期 1,750百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年9月期	224	25	7	1,899
2020年9月期	849	25	30	1,693

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当 率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年9月期		0.00		0.00	0.00			
2021年9月期		0.00		0.00	0.00			
2022年9月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

3. 2022年9月期の業績予想(2021年10月1日～2022年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,592	1.5	16		16		20		3.00
通期	8,000	6.6	300	4.4	300	3.2	190	3.0	28.36

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期	6,734,600 株	2020年9月期	6,710,200 株
期末自己株式数	2021年9月期	299 株	2020年9月期	224 株
期中平均株式数	2021年9月期	6,727,232 株	2020年9月期	6,679,077 株

(注) 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、2020年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数を算定しております。

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算説明会について)

当社は、2021年11月12日(金)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。

この説明会で使用する決算説明資料につきましては、TDnetで本決算短信と同時に開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	10
(持分法損益等)	10
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社が属する電子書籍市場規模は、インプレス総合研究所「電子書籍ビジネス調査報告書2021」によると、2020年度の電子書籍市場（電子書籍＋電子雑誌）規模は4,821億円と推計され、2019年度の3,750億円から1,071億円（28.6%）増加し、2025年度には2020年度の約1.4倍の6,747億円程度に拡大すると予測されています。また、2020年度のマンガアプリ広告収益市場規模は、前年から50億円増加の260億円となり、2021年度には280億円に拡大すると予測されており、アプリでマンガを楽しむユーザーは、引き続き増加傾向にあります。

一方で、電子書籍のビジネスモデルの多様化や成熟によって電子書籍市場が徐々に飽和していくことも想定されます。また、海賊版ウェブサイトの利用者拡大等が、アクティブユーザー数の伸び悩みや1人当たり課金売上の低下をもたらしている大きな要因であると推察しております。

このような市場環境の中で、「マンガBANG!」の主力であるフリーミアムモデル（注）のコーナーにおいて、配信される作品の差別化を図るために、オリジナル作品の創出や出版社との信頼関係を深化させ、先行配信や人気作品の配信数の増加に努めてきました。また、海賊版サイトが再び活発になってきたことを受け、獲得効率を意識しながらユーザーの拡大が困難な状況であったため、獲得効率よりもユーザー獲得数の増加を重視した広告宣伝方針に変更し、ユーザーの拡大に注力しました。

以上の結果、当事業年度における売上高は7,507,568千円（前年同期比0.2%減）、営業利益は287,280千円（前年同期比73.8%減）、経常利益は290,843千円（前年同期比73.2%減）、当期純利益は185,340千円（前年同期比75.3%減）となりました。

なお、当社はマンガアプリ事業の単一セグメントであるため、セグメント毎の記載はしていません。

（注）フリーミアムモデル：基本的なサービスはすべて無料で提供し、一部の機能を有料で提供するビジネスモデル

(2) 当期の財政状態の概況

（資産の部）

当事業年度末における総資産は3,020,181千円となり、前事業年度末に比べ86,737千円減少いたしました。これは主に、売掛金が452,152千円減少した一方で、現金及び預金が205,613千円、未収還付法人税等が82,306千円増加したことによるものであります。

（負債の部）

当事業年度末における負債合計は970,480千円となり、前事業年度末に比べ335,467千円減少いたしました。これは主に、未払法人税等が357,529千円減少した一方で、前受金が51,462千円増加したことによるものであります。

（純資産の部）

当事業年度末における純資産は2,049,700千円となり、前事業年度末に比べ248,729千円増加いたしました。これは主に、当期純利益の計上により利益剰余金が185,340千円増加したことと、新株予約権が52,695千円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べ205,613千円増加し、1,899,544千円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度における営業活動の結果得られた資金は、224,132千円（前事業年度は849,901千円の収入）となりました。主な要因は、法人税等の支払額533,313千円により資金が減少した一方で、税引前当期純利益の計上290,843千円、売上債権の減少452,152千円により資金が増加したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度における投資活動の結果使用した資金は、25,887千円（前事業年度は25,969千円の支出）となりました。主な要因は、敷金及び保証金の差入による支出25,517千円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度における財務活動の結果得られた資金は、7,368千円（前事業年度は30,215千円の収入）となりました。主な要因は、新株予約権の行使による株式の発行による収入10,710千円であります。

(4) 今後の見通し

当社を取り巻く事業環境におきましては、電子書籍市場が拡大する中で、市場の成長を見込み、各社が広告宣伝費の投下額を増加させております。それによって、ユーザー獲得における市場が激化する等、市場環境の変化が激しくなっております。このような環境の中、既存事業であるマンガアプリ事業の成長による収益拡大を目指すとともに、マンガアプリ事業の海外展開及び新規事業も展開して参ります。

マンガアプリ事業におきましては、最重要である「マンガBANG!」の更なる成長のために、当社オリジナル作品の創出と配信作品のラインナップ充実による差別化を図って参ります。一方で、一定の収益性を考慮した上で、ユーザー獲得数を最大化させるために、Web広告に加え、インフルエンサーマーケティングや利益確保を意識しながらマスメディア向けの広告宣伝の実施も適宜検討する等、広告宣伝費の積極投下を継続して参ります。また、マンガアプリの海外展開におきましては、mangamo社と連携しながら海外向けマンガ配信サービスを開拓して参ります。

新規事業におきましては、当社の強みであるアプリ開発力とマネタイズ力を活用したサービスの創出を目指すとともに、事業シナジーを見据えたM&Aも有効手段として検討する等、当社の事業拡大に必要な先行投資を積極的に進めて参ります。

なお新型コロナウイルス感染症の拡大により、働き方に対する影響や広告宣伝戦略に対する影響が予想されますが、現状において、当社の事業や業績への過大な影響はみとめられておりません。

以上より、2022年9月期の業績は、売上高8,000百万円（前年同期比6.6%増）、営業利益は300百万円（前年同期比4.4%増）、経常利益は300百万円（前年同期比3.2%増）、当期純利益は190百万円（前年同期比3.0%増）を見込んでおります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、国際会計基準の適用については、株主構成及び国内の同業他社の動向等を踏まえ、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当事業年度 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,693,930	1,899,544
売掛金	1,201,833	749,681
コンテンツ	8,216	7,193
前払費用	14,194	16,903
未収還付法人税等	-	82,306
その他	6,386	61,357
流動資産合計	2,924,562	2,816,987
固定資産		
有形固定資産		
建物	10,494	10,494
減価償却累計額	△4,540	△7,163
建物(純額)	5,953	3,330
工具、器具及び備品	9,321	9,307
減価償却累計額	△3,468	△5,601
工具、器具及び備品(純額)	5,852	3,706
有形固定資産合計	11,806	7,036
投資その他の資産		
長期前払費用	1,533	-
敷金及び保証金	83,781	107,369
繰延税金資産	85,235	88,788
投資その他の資産合計	170,549	196,157
固定資産合計	182,356	203,193
資産合計	3,106,918	3,020,181

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当事業年度 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	353,579	333,636
1年内返済予定の長期借入金	3,205	-
未払金	450,863	462,035
未払費用	23,163	4,757
未払法人税等	357,529	-
前受金	113,189	164,651
預り金	3,018	3,716
賞与引当金	1,400	1,650
その他	-	33
流動負債合計	1,305,947	970,480
負債合計	1,305,947	970,480
純資産の部		
株主資本		
資本金	356,089	361,504
資本剰余金		
資本準備金	352,375	357,790
資本剰余金合計	352,375	357,790
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,042,193	1,227,534
利益剰余金合計	1,042,193	1,227,534
自己株式	△256	△393
株主資本合計	1,750,402	1,946,436
新株予約権	50,568	103,264
純資産合計	1,800,970	2,049,700
負債純資産合計	3,106,918	3,020,181

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当事業年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
売上高	7,524,525	7,507,568
売上原価	4,730,248	4,813,936
売上総利益	2,794,276	2,693,631
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	1,314,628	1,993,470
役員報酬	64,200	73,350
従業員給料及び手当	81,622	104,247
法定福利費	20,765	23,623
株式報酬費用	40,636	48,807
支払報酬	36,307	36,088
その他	138,121	126,764
販売費及び一般管理費合計	1,696,283	2,406,351
営業利益	1,097,993	287,280
営業外収益		
受取利息	12	19
受取手数料	1,340	3,633
その他	205	67
営業外収益合計	1,557	3,720
営業外費用		
支払利息	75	23
為替差損	11,739	4
株式交付費	162	120
新株予約権発行費	2,860	-
その他	20	8
営業外費用合計	14,857	156
経常利益	1,084,693	290,843
税引前当期純利益	1,084,693	290,843
法人税、住民税及び事業税	384,184	109,056
法人税等調整額	△49,756	△3,553
法人税等合計	334,428	105,503
当期純利益	750,264	185,340

売上原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)		当事業年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
I 仕入高		4,557,644	96.2	4,629,965	96.0
II 労務費		57,295	1.2	60,942	1.3
III 経費	※1	123,525	2.6	130,222	2.7
合計		4,738,465	100.0	4,821,130	100.0
他勘定振替高	※2	8,216		7,193	
売上原価		4,730,248		4,813,936	

(注) ※1 主な内訳は、次のとおりであります。

項目	前事業年度(千円)	当事業年度(千円)
外注費	48,983	49,999
賃借料	60,032	65,511

※2 他勘定振替高の内容は、次のとおりであります。

項目	前事業年度(千円)	当事業年度(千円)
コンテンツ	8,216	7,193
計	8,216	7,193

(原価計算の方法)

当社の原価計算は、個別原価計算による実際原価計算であります。

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本							新株予約権	純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本 合計		
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益剰 余金	利益剰余金 合計				
当期首残高	338,524	334,810	334,810	291,929	291,929	△256	965,007	-	965,007
当期変動額									
新株の発行	17,565	17,565	17,565				35,130		35,130
当期純利益				750,264	750,264		750,264		750,264
自己株式の取得							-		-
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)								50,568	50,568
当期変動額合計	17,565	17,565	17,565	750,264	750,264	-	785,394	50,568	835,962
当期末残高	356,089	352,375	352,375	1,042,193	1,042,193	△256	1,750,402	50,568	1,800,970

当事業年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本							新株予約権	純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本 合計		
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益剰 余金	利益剰余金 合計				
当期首残高	356,089	352,375	352,375	1,042,193	1,042,193	△256	1,750,402	50,568	1,800,970
当期変動額									
新株の発行	5,415	5,415	5,415				10,830		10,830
当期純利益				185,340	185,340		185,340		185,340
自己株式の取得						△136	△136		△136
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)								52,695	52,695
当期変動額合計	5,415	5,415	5,415	185,340	185,340	△136	196,034	52,695	248,729
当期末残高	361,504	357,790	357,790	1,227,534	1,227,534	△393	1,946,436	103,264	2,049,700

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当事業年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	1,084,693	290,843
減価償却費	5,287	5,134
差入保証金償却額	1,929	1,929
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,400	250
受取利息	△12	△19
支払利息	75	23
株式交付費	162	120
株式報酬費用	48,968	52,695
新株予約権発行費	2,860	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△553,945	452,152
仕入債務の増減額 (△は減少)	162,266	△19,943
前受金の増減額 (△は減少)	54,235	51,462
未払金の増減額 (△は減少)	191,698	11,172
その他	△14,964	△88,376
小計	984,654	757,445
利息及び配当金の受取額	12	19
利息の支払額	△71	△19
法人税等の支払額	△134,693	△533,313
営業活動によるキャッシュ・フロー	849,901	224,132
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,698	△436
敷金及び保証金の差入による支出	△22,033	△25,517
その他	762	67
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,969	△25,887
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△3,492	△3,205
新株予約権の行使による株式の発行による収入	34,967	10,710
その他	△1,260	△136
財務活動によるキャッシュ・フロー	30,215	7,368
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	854,147	205,613
現金及び現金同等物の期首残高	839,783	1,693,930
現金及び現金同等物の期末残高	1,693,930	1,899,544

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の収束時期を正確に予測することは困難な状況にありますが、当事業年度も引き続き新型コロナウイルス感染症の影響が一定期間継続するものとして会計上の見積りを行っております。

また、現時点において、当社の事業活動にも広告市況の悪化に伴う広告収益単価の下落といった影響が一部生じておりますが、当社の会計上の見積りに及ぼす重要な影響はないと判断しております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は不確定要素が多く、翌事業年度以降の当社の財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社は、マンガアプリ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

当社は、関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当事業年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
1株当たり純資産	260.87円	289.03円
1株当たり当期純利益	112.33円	27.55円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	107.91円	26.74円

(注) 1. 当社は2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当事業年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	750,264	185,340
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	750,264	185,340
普通株式の期中平均株式数(株)	6,679,077	6,727,232
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	273,298	203,331
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	第6回新株予約権 新株予約権の数 400個 普通株式 80,000株 第7回新株予約権 新株予約権の数 270個 普通株式 54,000株	第6回新株予約権 新株予約権の数 400個 普通株式 80,000株 第7回新株予約権 新株予約権の数 240個 普通株式 48,000株

(重要な後発事象)

(投資有価証券の取得)

当社は、2021年9月30日開催の取締役会において、mangamo株式会社（以下、「mangamo」）の株式を取得することを決議し、同日付で株式引受契約を締結いたしました。当該引受契約に基づき2021年10月29日付にて株式を取得しております。

(1) 株式取得の目的

当社では今後の成長戦略として、国内のマンガアプリ事業の更なる拡大の他に、オリジナル作品の制作と日本のマンガの海外展開を掲げております。その上で、mangamo との相互の事業発展のためのシナジーを発揮することを目的として、株式を取得いたしました。

mangamo は、日本のマンガを日本・中国・韓国を除く全世界に配信するサブスクリプションサービス「Mangamo」を企画・開発・運営しております。当社が持つ出版社との強固な関係を活かすことで「Mangamo」での配信作品数の増加を見込むとともに、当社オリジナル作品の配信も行う予定です。また、当社の海外向けマンガアプリ「Manga Flip」の運営においても、mangamo が有する海外展開ノウハウの提供によって、サービス拡大を目指して参ります。

(2) mangamo株式会社及び株式取得の概要

1	名称	mangamo株式会社
2	所在地	東京都目黒区五本木一丁目28番9号
3	代表者の役職・氏名	代表取締役 MARINI HENRY S
4	事業内容	デジタルコンテンツの翻訳、企画、開発、運営及び配信
5	資本金	110,999,928 円（2021年9月30日時点）
6	設立年月日	2018年4月24日
7	取得株式数	1,063,829 株
8	取得価額	49,999,963 円
9	払込日	2021年10月29日

(注) 出資比率につきましては相手先の意向を踏まえ記載しておりませんが、当社の関連会社とはならない範囲の比率であります。なお、本新株式引受数と合算して、本新株式発行時点におけるmangamo の発行済株式総数の3分の1超を取得することができる個数の新株予約権の割当契約を締結しております。